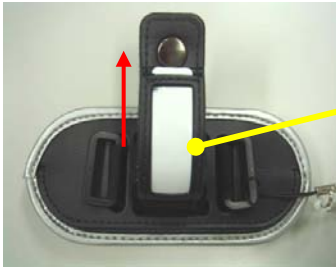


ICタグ取り扱い説明書



ICタグの裏側は、ランドセルやカバンに取り付けられるようベルトになっています。



ベルト部は児童がランドセルやカバンからICタグを簡単に取り外しできないようになっています。(落下、紛失防止のため)

リングの中心部を押すとボタンが外れます。
※外れにくい場合は、ボールペン等で押してみてください。
無理に外そうとすると故障の原因となります。



ボタンが外れました。
横に取り付けたい方はベルトをはずして横枠にベルトを通して付けてください。



ベルトを横に取り付けるとこのようになります。

取付イメージ



※ランドセルやカバンによってベルトの位置を縦もしくは横に変えることが可能です。

【注意点】

- ※ ICタグの取り付け位置は、なるべく体から離れた場所に取り付けてください。体に近い部分（カバンのベルト部分など）に取り付けると正常に検知されない場合があります。
- ※ できる限り強い衝撃をあたえないでください。
- ※ 水につけないでください。雨や雪に耐えるよう防滴加工をしていますが、水に浸してしまうと故障の原因となります。

ICタグサービスにおけるメール配信に係る留意点

【登下校通知メールについて】

登下校時に登録メールアドレスに配信されるメールについては以下のとおりの取り扱いとなっています。

《小学校》

登校時 ～ 「**登校通知メール**」を配信します。

下校時 ～ 「**下校通知メール**」を配信します。

児童見守りシステムで、

「登校通知メール」と「下校通知メール」を区分する登下校区分時刻は、午前11時です。

午前11時までは、児童玄関に設置のセンサーがICタグを検知するたび「**登校通知メール**」が配信されます。

午前11時以降は、児童玄関に設置のセンサーがICタグを検知するたび「**下校通知メール**」が配信されます。

これにより、午前11時までの早退に対しては、「**登校通知メール**」が配信されます。また、午前11時以降の遅刻については、「**下校通知メール**」が配信されます。

【メールの連続配信防止機能について】

ICタグを持った児童がセンサー検知範囲を出たり入ったりすると、センサーはその都度ICタグを検知し、登録メールアドレスに登下校通知メールを配信しようとしています。

これにより、登下校時に児童がセンサー検知範囲を何回か出入りした場合は登録メールアドレスに連続してメールアドレスが配信されることとなります。

このメールの連続配信を防止するため、一度目の通知メールを配信した後、30分以内に再度ICタグを検知しても2回目のメールは配信されません。

